

園児及び高齢者通所施設対象普及啓発活動

- 1 目的 市内保育園で行われる施設訪問交流事業の際に、歯みがきをツールとして双方の歯の健康に対する意識の向上を図ることを目的とする。
これにより、園児の歯を大切に思う気持ちを育てると共に、高齢化が加速している背景があることから、施設の利用者やスタッフに対し、歯の健康の大切さを再認識してもらえよう働きかけ、利用者及び施設スタッフの歯の健康に関する意識の向上を図ることを目的とする。
- 2 方法 園児が行う交流事業の中で、歯みがきを行い、口の中がさっぱりした状態で施設利用者との交流を深める。
- 3 対象
 - ・ 市内保育園児
 - ・ 高齢者通所施設利用者
- 4 平成28年度実施数
 - ・ 高齢者通所施設 5施設(施設利用者117名、スタッフ33名)
 - ・ 保育園 4園(年長児89名)



※開催時の様子（平成28年10月5日）

- ・ 小牧市立大山保育園の年長児(14名)
- ・ ケアパートナー小牧（デイサービス利用者28名）

子ども達がとても得意げに歯みがきを実施。
それを見ながら、施設利用者も一生懸命歯を磨かれたいた。
スタッフからは、「いつもなかなか磨かない利用者が盛んに
歯みがきしている姿が印象的だった」との声も聞かれた。